

願 い

- ・地域の願い
- ・保護者の願い
- ・自分自身の願い

学校教育目標
<具体目標>

- 豊かな心をもつ子
- すすんで学ぶ子
- 健康でたくましい子

児童の実態

- ・素直で指示されたことは、よくできる。
- ・自分の役割は、責任を持ってやり遂げる。
- ・人との関わり方が苦手で、自分の行動に自信がない。

一人一人が安心できる学級・学校



研究の見通し

- ・算数の副教材等【主にI<<tem (筑波大学附属小学校・算数研究部/著)】を活用する。
- ・教師が意図的に「豊かな発想と考える力」の育成を図る問題を与え、学び合いの学習場面を設定し、児童の意見の交流を行うことで、「豊かな発想と考える力」が図れると考える。

研修方法

- ・児童が互いに意見を交流し合う場面を意図的に位置づけて実践する。
- ・副教材の効果的な活用方法を求めて、様々なアプローチから「豊かな発想と考える力」を育成するための指導の実践・検討をする。
- ・各部会との連携を図りながら、授業実践や集団活動の充実を通して研修の推進をする。

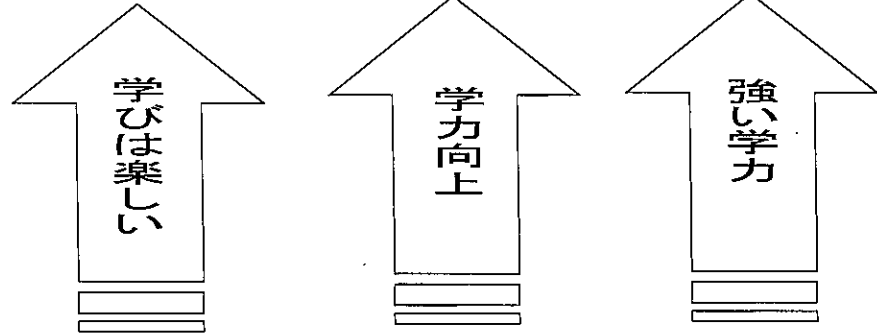
研修テーマ

算教科における豊かな発想と考える力の育成
 ～副教材の活用事例研究を通して～

教師として、人間としての成長

- ・児童理解の向上
- ・授業力の向上
- ・学級経営力の向上

食農教育
 H19～21
 指定校



授業研究

伝える・伝え合う力の育成

低学年：相手の願いや考えを聞き、自分の願いや考えを確かに相手に伝える。
 中学年：相手の願いや考えを聞き、自分の願いや考えを確かに伝えて、意見の交流ができる。
 高学年：意見の交流の仕方を理解し、相手の願いや考えと自分の願いや考えを出し合い、よりよいものに高めていこうとする。

確かな学力

自ら考え、判断し表現しようとする子 <本校でとらえている確かな学力とは、>

ア：知識や技能を身につけ、活用する力	オ：自分で表現する力
イ：学ぶことへのやる気・意欲	カ：問題を解決し、自分で道を切り開いていく力
ウ：自分で考える力	キ：学び合える力
エ：自分で判断する力	

基礎学力(基礎的・基本的事項の内容)の定着

家庭

地域